

# 芝草原保全活動を行いました



芝草原の生い立ち等を教えています

9月26日（月）、八幡平市安比高原にて八幡平市立安代小学校5学年児童17名へ今年度4回目（最終）となる森林教室を行いました。

当日は、安比高原の芝草原保全活動を行っている団体、安比高原ふるさと倶楽部から2名の参加協力があり、安比高原芝草原の生い立ちや現状（昔、馬を放牧しており、馬が草を食むことにより芝草原を維持できていたが、現在は人が手入れをして現状を維持していること等）を児童に説明し、保全する意義を教えた後、岩手北部森林管理署職員から手鋸による木の切り方を説明しました。



額に汗をかきながら夢中です

児童たちに今日は木（ツツジ等の灌木）を切る作業と伝えると、「やったー!」と大きな歓声をあげていました。

2人一組で手鋸を交代で使い作業を行っていると、次第に自分で考えながら行動する様子が見られ、終始笑顔が絶えない楽しい保全活動となりました。



連携作業でがんばります

作業後の感想を聞いてみると、「家のおじいちゃんが木を切る時手伝いたい」「家のそばにある木を切ってみたい」「がんばって木が切れて良かった」と笑顔で答えていました。

今年度の森林教室が終了しました。

3校で計7回開催し、対象児童のべ人数は141人でした。



来年度も是非森林教室の開催をお願いしたいとの学校側の要請があったことから、できる限り対応していきます。